

Doc.No : NR020328

2002年3月28日

管理者に業績連動型報酬制度と転籍・役職定年制を導入

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区／社長：石田 明)は、2002年4月1日からの社内カンパニー制開始に合わせて、管理者を対象に業績連動型報酬制度、および転籍制度と役職定年制を導入します。

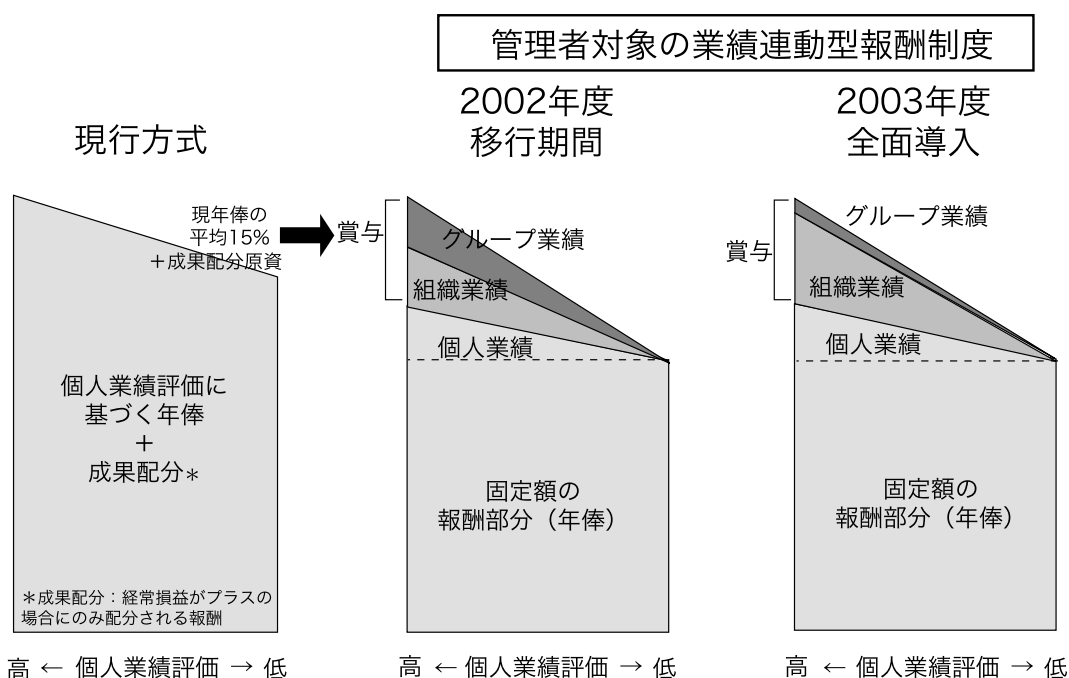
■管理者の業績連動型報酬制度の導入

このたび導入する報酬制度は、大日本スクリーングループ全体の業績を反映した「グループ業績」とカンパニーやセンターなどの組織単位の業績を反映した「組織業績」、各管理者の目標達成度に連動した「個人業績」の3業績評価によって決定される報酬が固定額の基礎年俸に加算される方式です。「グループ業績」および「組織業績」は「賞与」として年1回(6月)支給され、連結の株主資本利益率(ROE)、総資産利益率(ROA)、営業キャッシュフローなどの指標をベースに、期初計画時の目標値に対する年度末時点の達成度によって決定されます。

これまでの管理者報酬は個人業績のみで決定される年俸と単独での経常損益がプラスの場合に支給される成果配分金で構成していましたが、新報酬制度では組織業績賞与に重点を置くことで、部下の職務遂行のベクトルを一致させ、より大きな組織業績につなげた管理者に対してより多くの報酬配分ができるようにしました。この新報酬制度の導入に当たり、現行の管理者年俸の平均15%部分をグループ・組織業績評価による賞与の原資に充当します。

2002年度は新制度への移行措置として、グループ業績と組織業績による賞与配分をほぼ同等程度にし、2003年度から組織業績による配分を大きく引き上げ、管理者に対する業績連動型報酬制度の全面導入を図ります。(下図参照)

これにより、管理者の処遇にメリハリを付けるとともに、組織業績の向上、さらに当社グループ全体の業績向上を狙います。



●本件についてのお問い合わせ先

大日本スクリーン製造株式会社 本社広報室：Tel 075-414-7131 Fax 075-431-6500 〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上ル4丁目

■管理者の人的資源活性化策

2002年度から管理者に対して転籍制度と役職定年制を導入します。

(1) 転籍制度

大日本スクリーングループ企業の経営強化を図るため、現在グループ企業に出向している、または2002年4月1日以降出向する50歳以上の当社管理者を対象として転籍を促進する制度。受諾者は当社を退職した上で出向先のグループ企業に採用されます。

(2) 役職定年制

部長や課長など組織の長に就く管理者に対して、2002年4月から役職定年制を導入。当初の2年間を移行期間とします。

この制度は組織の長に若手を登用し、組織の活性化を図る目的です。役職ごとの定年年齢は、例えば事業部長や統轄部長クラスは59歳、部長や支店長クラスは57歳、副部長クラスは55歳、課長クラスは53歳となります。